

議会報告・懇談会 ～市民と議会のつどい～を開催しました

平成29年11月4日から17日まで、市内21会場で開催。
参加者の皆さま、開催にご協力いただきました皆さまに
お礼申し上げます。



JA三次東部支店(神杉地区)

【概要】

平成19年から開催し、今回で11回目の開催となりました。

議員の班編成は4班で、議会運営委員会、総務・教育民生・産業建設の各常任委員会の正副委員長を班長、副班長とし、議員を所属常任委員会ごとに分けて構成しました。

議会報告・懇談会は、2部構成で、第1部は「議会報告」として常任委員会からの次の事項について報告を行いました。

- 総務常任委員会
 - ・三次地区拠点整備事業について
- 教育民生常任委員会
 - ・市立三次中央病院の課題解決に向けた取組について

・市内全小中学校普通教室・特別支援教室へのエアコン設置について

● 産業建設常任委員会

・JA三次集落法人グループ及び三次市有害鳥獣駆除班との意見交換会について

第2部は、初めての試みとして、「地域を活性化するためには」をテーマとして、「ワークショップ形式」による意見交換を行いました。準備不足ではありましたが、アンケートでは、「今後も続けてもらいたい」、「みんなの意見が聴けて良かった」等の回答がありました。改善する点も多々ありましたので、次回に向け、より良いものとしていきたいと思えます。



河内コミュニティセンター



青河コミュニティセンター



十日市コミュニティセンター

議会報告・懇談会におけるご意見・ご提言

本年度の議会報告・懇談会では、421名の参加があり、多くのご意見・ご提言をいただきました。その一部は次のとおりです。

議員全員で共有すべき意見等

- ①自治会加入率や地域行事参加率の向上
- ②安心安全な環境整備（屋外スピーカーを含め）
- ③寺戸の内水問題の解決（ポンプ設置を含め）
- ④J R三江線廃止後の跡地の有効利用
- ⑤若者の定住対策、イターン・Uターンの施策の充実
- ⑥大型商業施設や公共施設の分煙化
- ⑦健康増進施設は若者を責任者として採用し、施設のPR等を積極的に取り組んでほしい。
- ⑧少子高齢化対策に力を入れてもらいたい。
- ⑨リーダー的人材育成と継続性への取組
- ⑩酒河小学校の旧教室へのエアコン設置
- ⑪交通量の激増による安全対策（拡幅、横断歩道設置）、交通弱者に配慮した地域公共交通対策、三次駅からプラザ方面への国道拡張

は、車や歩行者の交通安全対策（信号機の設置等）をしっかりと考えてもらいたい。

- ⑫鳥獣対策の充実（人材不足解消・電気柵も出来ない）
 - ⑬農業法人の維持対策
 - ⑭県道和三次線の安全対策の徹底（白線の鮮明化等）
 - ⑮道路等の草刈り、維持管理
 - ⑯税申告会場を合理化しないでもらいたい。
 - ⑰妖怪博物館は賛否両論意見があるが、議会は、行政と力を合わせ成功に向けしっかりとやってもらいたい。
 - ⑱空室の市営住宅をお試し住宅として利用することの検討
 - ⑲長寿村跡地の適正な管理
 - ⑳安田「ユキワリイチゲ」自生地の保護
 - ㉑（仮称）吉舎総合文化施設関連情報の市民周知の徹底
- また、常任委員会等で今後継続的に調査・研究していくこととして申し合わせたものは次のとおりです。

総務常任委員会に関係するもの

- ①酒屋地区の交通安全対策
- ②屋外スピーカーの設置
- ③若者の定住対策、イターン・Uター

の施策充実

- ④投票所統合の検証
- ⑤携帯電話不感地域の解消
- ⑥リーダー的人材育成と継続性への取組
- ⑦常会の加入率をあげる条例等の制定
- ⑧空き家対策として、貸し手への支援（補助）対策

教育民生常任委員会に関係するもの

- ①市立三次中央病院の待ち時間等の対策
- ②多機能型精神科診療所
- ③独居老人・介護の取組
- ④子育て環境の充実

産業建設常任委員会に関係するもの

- ①鳥獣駆除対策の充実、狩猟に係る費用の支援策
- ②危険空き家対策
- ③農業法人の現状調査、維持対策
- ④道路等の草刈り、維持管理

地域公共交通調査特別委員会に関するもの

- ①交通弱者に配慮した地域公共交通対策
- ②くるるんバスの利用率向上

広報広聴常任委員会に関するもの

- ①CATVを利用した全一般質問事項の周知

議会報告・懇談会の成果、運営上の課題や今後の改善等

開催状況やご意見・ご提言・アンケート結果等を踏まえ、今後の改善等について協議しました。
来年度の開催に向けての改善策等について、今後、広報広聴常任委員会において協議を重ねてまいります。

1 成果について

- ① ワークショップ形式で参加者と膝を突き合わせて話げできたことはよかった。
- ② 参加者全体の声が聴けてよかった。
- ③ 高校生との意見交換会は継続すべき。
- ④ 改善点は多々あるが、ワークショップの実施は次につながる改革だった。

2 運営上の課題について

- ① 第1部の常任委員会報告は必要なのか。
- ② 第1部と第2部の時間設定に無理があった。
- ③ 第2部のテーマ設定が漠然としていたため、ワークショップを進めにくかった。

3 今後のあり方について

- ④ 第2部のワークショップのテーマを早く市民に周知すべき。
- ⑤ 若者や女性の参加が少なかつたので、来てもらう方法を検討すべき。
- ⑥ 事前に議員研修を行う必要がある。

今年度の議会報告・懇談会のキーワードとして、「常任委員会報告の見直し」、「ワークショップ形式の継続」、「地域テーマの設定」、「早期の取組・周知」、「議員研修(ワークショップ)の実施」、「子育て世代・女性の参加」が挙げられます。そのキーワードをもとに今後のあり方を、次のとおり検討しました。

① 議会報告・懇談会全体構成の組立

- (1) 報告内容の見直しやワークショップ形式の取組内容の再考
 - ・ 特に市民の関心が高く、広く周知する必要があると思われる案件についての報告に絞る。
 - ・ 市民(地域)が関心のある内容をテーマ設定し、ワークショップ形式を行う。
 - ・ ワークショップで出された意

見について、委員会で研究や一般質問等で「見える化」する。

- (2) ワークショップに関する研修会等を実施し、議員意識の統一を図る。

- (3) 高校生との意見交換会の継続
来年度も直接、高校生のみなさんの意見をお聞きする機会を設ける。

- (4) 地域や各種団体との意見交換
現在、各常任委員会を取り組んでいる地域や各種団体との意見交換会の推進。

② オープン型意見交換会実施の方向性

夜間に参加しづらい子育て世代や女性をターゲットにシヨッピングセンター等で開催してきたが、その目的が達成されておらず、その課題解決に取り組む。

今後、第1部のあり方や第2部の

ワークショップのやり方を広報広聴常任委員会でも検討し、市民の皆さんが参加しやすく、ご意見・ご提言をいただける議会報告・懇談会としていきます。
また、この度、議会報告・懇談会でいただいた意見は、今後、議会や議員の活動で取り上げ、継続的に調査・研究を行うことによって、最終的には政策提案等に結び付けるよう生かしていきたいと思えます。

議員研修会を行いました

1月31日に早稲田大学マニフェスト研究所の中村健氏を講師に迎え、ワークショップの進め方等について研修を行いました。

